



月刊美術 2021年1月号の
32P イチオシ作家特集に
森ゆだねを
ご紹介いただきました



《穹窿》 27×24cm 日本画



《動線》 27×24cm 日本画



《あしはこび》 27×24cm 日本画



《朝の光》 27×24cm 日本画

森ゆだね Yudane MORI

空中ブランコで自由に舞う裸の美女図

かわうそ画廊

東京都中央区新富1-8-11
東新ビル
☎03(3552)0550
<https://kawausogarou.com/>
▶8月・同画廊にて個展開催



愛媛県生まれ。2005年広島市立大学大学院日本画修了。第60回春の院展初入選（以降61、63、64、66、68、70回入選）。10年第95回再興院展初入選（以降96、97、98、99、100回入選）。20年ONE ART 台北出展。日本美術院院友。



郷愁を誘う風景の一方、あどけない表情の少女、吉祥猫など、さまざまなモチーフとテーマに挑戦している森ゆだねさんが、また新しい展開を見せてくれます。（かわうそ画廊・二宮真理子）

これまで瀬戸内の風景や星座、港などを題材に描いてきた日本画家・森ゆだねがモチーフを大きく変えた新シリーズを展開。空中ブランコ乗りの美女をモデルに、様々な動きのあるポーズを取材し、色紙サイズに描く連作「爽楽天女」と名付けた。2021年はこの裸婦連作を中心とした個展「爽楽天女・動」を8月に予定する。
愛媛を拠点しながら、全国にむけて新しい時代に合わせた制作と発表を試みようという意欲を燃やす。



月刊美術 2021年1月号の
44P イチオシ作家特集に
辻信之を
ご紹介いただきました



《Street Portrait II》 8F 油彩



《微笑 III》 6F 油彩

ゲーム時代の油彩画美人 辻 信之

Nobuyuki TSUJI



《Street Portrait III》 10M 油彩



2019年10月の初個展ではコレクターに白をイメージした人物画が好評で7割売約。2度目の個展も人物画を中心に約20点を発表する予定です。現代的でポップな印象の女性像に期待がかかります(かわうそ画廊・二宮真理子)

かわうそ画廊

東京都中央区新富1-8-11 東新ビル

☎03(3552)0550

<https://kawausogarou.com/>

▶1月23日(土)～30日(土)・同画廊にて個展開催



大学卒業後グラフィックデザイナー、イラストレーターを経てゲームソフト開発に携わる。独学で油彩画を研鑽。2019年かわうそ新人賞優秀賞。19年初個展。20年阪神百貨店ヌーヴェルバーグ展。

辻はオンラインゲームのCGディレクションをした経験からか、油彩作品でもレブリカントのような人工美を醸し出す。描かれる女性は二次元空間の中でしか会えない、理想を形にした存在。しかしそう分かっていながら、次元を超えて親しみを投げかけるように目を逸らすことを躊躇させる何かがある。どこか何処でもない風景の中に描かれた、21世紀の美人画の誕生といえよう。